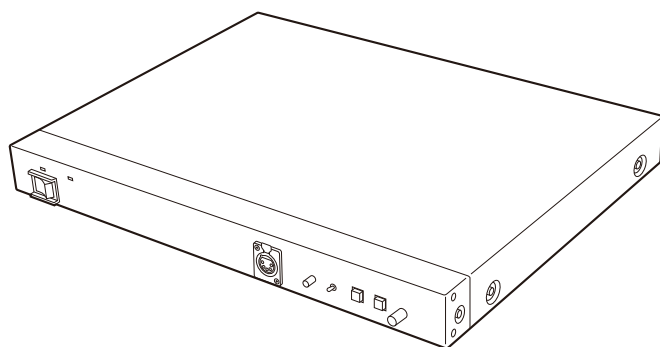


取扱説明書

ベースステーション 品番 AG-BS300



このたびは、「パナソニック製品」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」(3～5ページ)を必ずお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

目次

安全上のご注意	3
付属品	6
特長.....	6
システム構成図	7
システム接続時の注意点	8
カメラ延長システムとカメラレコーダーの構成例.....	9
AG-HPX305との接続	9
AG-HPX305/AG-HPX555以外のカメラレコーダーとの接続	10
AG-HPX555との接続	11
各部の名称と機能.....	12
フロントパネル	12
リアパネル	13
GENLOCK IN端子に入力する信号について	15
RET信号について	16
ラックマウントについて	16
カメラレコーダーの設定	17
電源コードについて	18
メニュー表示.....	19
メニュー一覧.....	20
コネクタの信号内容.....	22
保証とアフターサービス	23
定 格.....	24

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

異常、故障時には直ちに使用を中止する



電源プラグ
を抜く

■ 異常があったときは、電源プラグを抜く

[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]





(そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。)

⇒本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。

⇒本機を電源から完全に遮断するには、電源コンセントからプラグを抜く必要があります。

⇒お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠ 警告 (続き)

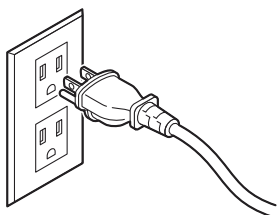
	<p>■ 電源コード・プラグが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱機器に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど]</p> <p>(傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。) ⇒電源コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100 V~240 V以外での使用はしない (たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。</p>
	<p>■ ビスは、乳幼児の手の届く所に置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
	<p>■ 外部DC電源は表示された電源電圧以外は使用しない (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)</p>
 分解禁止	<p>■ 分解や改造をしない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機の金属部や電源プラグに触れない (落雷すると、感電につながります。)</p>
	<p>■ 電源プラグは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>
	<p>■ 電源プラグのほこり等は定期的にとる (ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。) ⇒半年に一度はプラグを抜いて乾いた布でふいてください。</p>
	<p>■ 外部DC電源を使用するときは、電源電圧、およびDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する (誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると火災や故障の原因になります。) ⇒詳しくは14ページを参照してください。 (DC電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)</p>
	<p>■ 付属品・別売品は、指定の製品を使用する (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)</p>

⚠ 注意

⊘	<p>■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない <small>(電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。)</small></p>
	<p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない <small>(特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になりますので、外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。) ⇒本機を絶対に放置しないでください。</small></p>
	<p>■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない、通風孔やファンは、ふさがない、横倒し、逆さまにしない] <small>(内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</small></p>
	<p>■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない <small>(落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)</small></p>
	<p>■ ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない <small>(ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)</small></p>
!	<p>■ 移動するとき、接続したコードに力が加わらないよう注意する <small>(コードが傷つき、火災の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。)</small></p>
	<p>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーやコードを外す <small>(火災の原因になります。)</small></p>
	<p>■ 1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談をする <small>(本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。)</small></p>
	<p>■ コードを引き回す場合、足など引っ掛けないよう固定したりカバーなどを <small>(足などを引っ掛けると、けがの原因になります。また、コードが傷つき、火災の原因にもなります。)</small></p>

■ **電源プラグの接地に関するご注意**

- 本機に付属されている電源コードは、接地端子を備えた3ピンのコンセントに接続してください。



海外で使用する場合は、その国に合った接地端子付電源コードを準備してください。

付属品

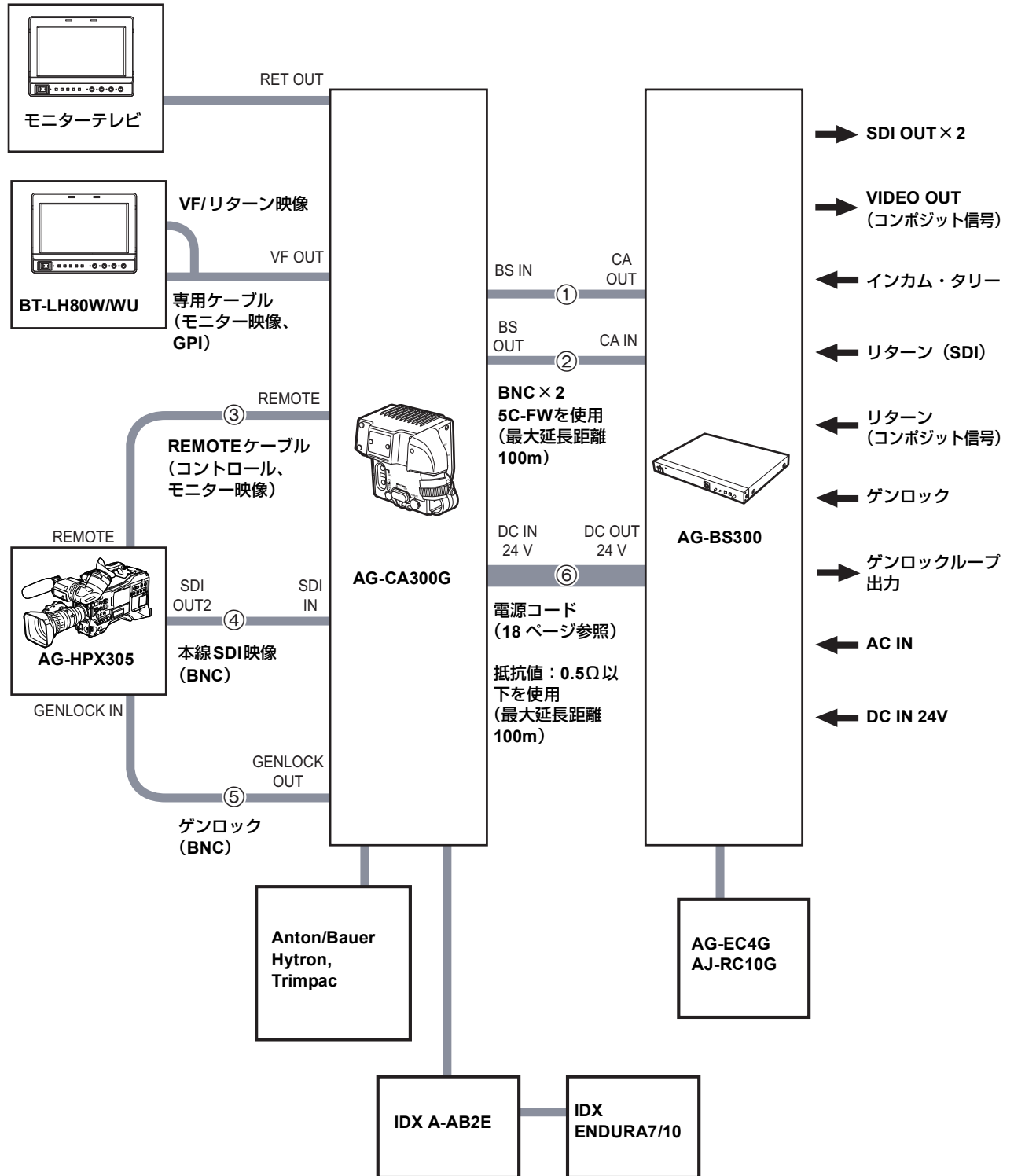
ACコード×1
ラックマウントアダプター×2
ラックマウントアダプタービス×6

特長

本機は以下の特長を有しています。

- 本機はカメラアダプター（AG-CA300G・別売品）との間を、電源コード（仕様については18ページ参照）と2本のBNCケーブルで接続し、カメラレコーダー側に電源を供給するとともに、カメラレコーダーで撮影している映像・音声信号を伝送します。
- 送り返し映像（RET）1系統の伝送が可能です。（モードにより2系統の伝送が可能です。）
- インターコミュニケーション（INCOM）1系統の伝送が可能です。
- リモートコントロール信号の伝送が可能です。
- 本機とカメラアダプターの間は非圧縮のデジタル信号で伝送しているため、カメラレコーダーで撮影している映像・音声信号を劣化させることなく伝送することが可能です。
- 本機とカメラアダプターの間は最大100mの延長が可能です。（BNCケーブル:5C-FW使用時）
- DCオペレーションが可能です。ただし、カメラアダプター側への電源供給はできません。
- マルチフォーマットに対応しています。

システム構成図



<ノート>

- 上記①～⑥のケーブルは必ず接続してください。
- その他対応カメラ：AJ-HPX3700G、AJ-HPX3000G、AJ-HPX2700G、AJ-HPX2100、AG-HPX555、AJ-HDX900、AJ-HDX400A

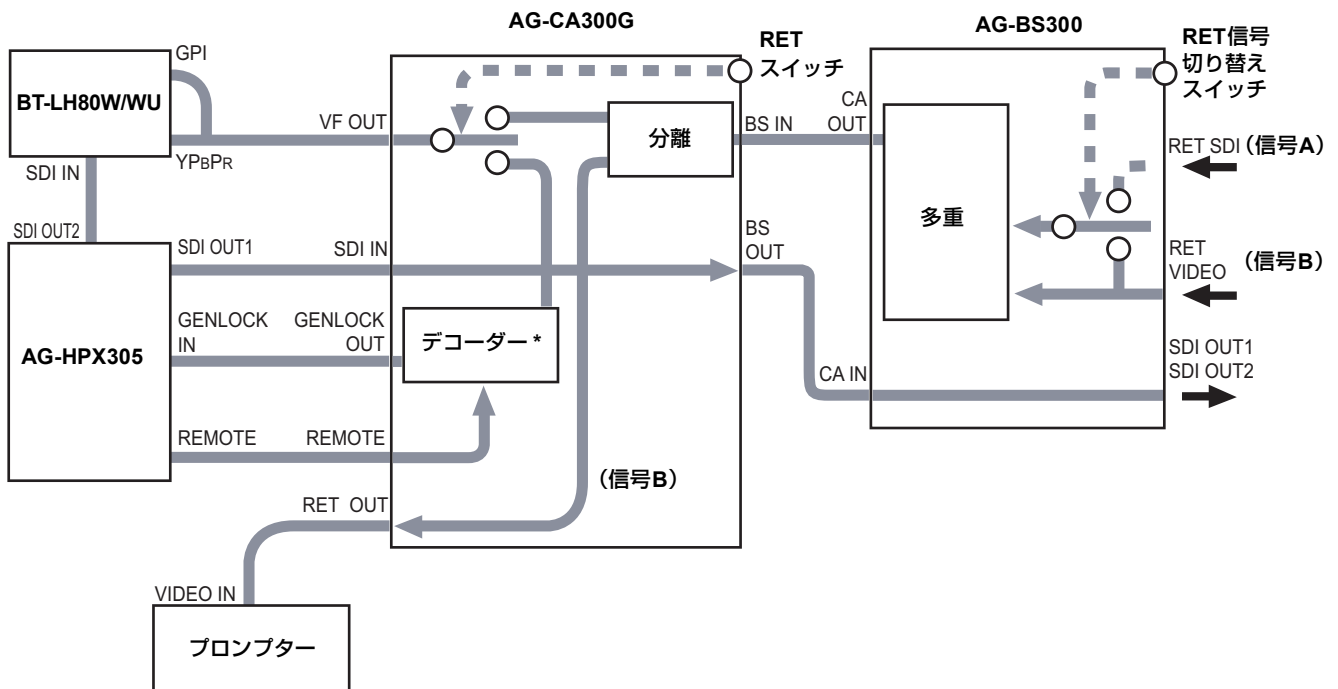
システム接続時の注意点

カメラアダプターと本機を接続する場合は、以下の点にご注意ください。

- カメラアダプターと本機との接続には、「電源コードについて」(18ページ)に記載された仕様の電源コードを使用してください。
電源コードの抜き差しは、必ず電源OFF状態で行ってください。
- BNCケーブルは5C-FWを使用してください。これ以外のケーブルをご使用になりますと最大延長距離が100m確保できなくなります。
- カメラレコーダーの映像フォーマットを変更したときには本機およびカメラアダプターの電源を一度OFFにして、再度入れなおしてください。
- 本機に送り返し信号(RET信号)を入力してカメラアダプター側でRET信号を確認する時、カメラアダプターのRET信号切換スイッチを押した瞬間にビューファインダー(液晶モニター)の映像が一瞬乱れることがあります。
- インカムに使用するマイクロフォンはダイナミックマイクロフォン専用です。
- 本機にリモコンユニット(AG-EC4G・別売品、もしくはAJ-RC10G・別売品)を接続し、リモコンユニットの電源を入れて有効にすると、カメラレコーダーの操作機能のほとんどはリモコンユニットに移行します。(ただし、POWER ON/OFF、AWB/ABB、MODE CHECK、REC START/STOP、FF、REWはカメラレコーダー側でも動作します。)
- 本機にリモコンユニットを接続し、リモコンユニットを無効にすると、カメラレコーダーの本体での操作が有効となります。
- 本機をカメラアダプター、およびカメラレコーダーと組み合わせて使用する場合、7ページの①～⑥に示すように各ケーブルを接続してください。またカメラレコーダーのGENLOCKメニューでGENLOCK項目を「EXT」に設定してください。(AG-HPX305、AG-HPX555では自動的に「EXT」モードになりますので、この設定は不要です。)また、GL PHASE項目を「HD SDI」に設定してください。
なお、AG-HPX555に接続して使用する場合、GL SELECT項目を「SDI」に、GL PHASE項目を「OFF」に設定してください。
- カメラアダプターから本機へ伝送される映像信号は1系統のみです。本機のVIDEO OUT(MENU)端子、およびSDI OUT 1/2端子からはカメラレコーダーのビューファインダー映像を見ることはできません。
- 本機はカラージェネレーターなどを内蔵していませんので、本機のみ電源を供給した場合、本機のVIDEO OUT(MENU)端子、およびSDI OUT 1/2端子からは映像信号は出力されません。
- 本機にリモコンユニットを接続した場合、本機よりも後でリモコンユニットの電源を投入してください。
- 本機に電源コードおよびBNCケーブルを接続してから、電源を投入してください。
- カメラレコーダー側で映像フォーマットを変更したとき、インカムは一時的に不通となります。
- 電源投入時、本機の映像出力信号が乱れることがありますが、故障ではありません。
- カメラレコーダーの映像フォーマットが720Pの場合、本機のGENLOCK IN信号端子にコンポジット信号を入力しても、720P信号はフィールド単位の信号ですので、SDI信号に重畳されたTC(タイムコード)と映像信号に±1フィールドのずれが生じます。
カメラレコーダーと本機からそれぞれ出力されるVBSの間にも±1フィールドのずれが生じます。
- 運用中、7ページ①、②、③、④、⑤、⑥のいずれかのケーブルを抜いた場合は、正しく接続後、再度電源を投入してください。
- 本機に接続されたカメラレコーダーを1080/23.98PsF、1080/24PsF、720/60Pに設定時は、本機のVIDEO OUT(MENU)端子からダウンコンバートの信号は出力されませんが、(メニュー表示のため25IREのNTSC信号が出力されます。)またRET信号としてコンポジット信号を入力することはできません。
- 本機とカメラアダプター、およびカメラレコーダーを組み合わせて使用する時、本機のSDI信号のエンベデッドオーディオはCH1～CH4のみを出力します。
- 本機とカメラアダプター、およびAG-HPX555と組み合わせたシステムにおいて、AG-HPX555で映像を再生したりIEEE1394モードにした場合、本機のVIDEO OUT信号およびSDI OUT 1/2信号の同期がずれます。また、AG-HPX555を再生モードにしたときIEEE1394モードにしたときに、インカムにノイズが発生することがあります。本機とカメラアダプター、およびAG-HPX555と組み合わせたシステムでは、AG-HPX555を再生モードやIEEE1394モードで使用しないでください。
- 本機とカメラアダプター、およびAG-HPX555と組み合わせたシステムにおいて、AG-HPX555をMCRモードにすると、AG-HPX555が再生時以外、本機の出力は黒画面になり映像は表示されません。
- 本機とカメラアダプター、およびカメラレコーダーと組み合わせた状態のまま、カメラレコーダーのバージョンアップは行わないでください。カメラレコーダーのバージョンアップはカメラレコーダー単体で行ってください。
- 本機とカメラレコーダーを組み合わせる際は、カメラレコーダーのシステムフォーマットに、SDI信号の出力フォーマットを合わせてください。

カメラ延長システムとカメラレコーダーの構成例

AG-HPX305 との接続

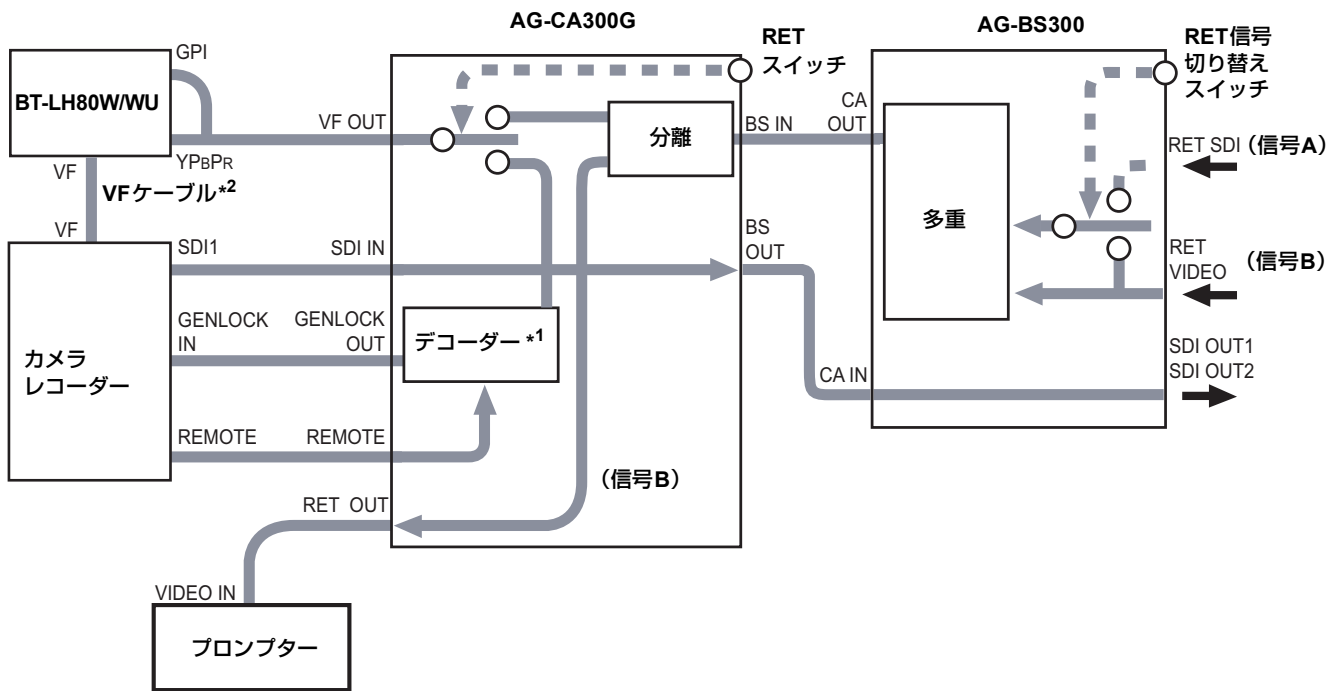


* VIDEO信号をコンポーネント信号に変換します。

- モニターはBT-LH80W/WUを使用します。
- AG-HPX305の映像フォーマットがHD方式の場合、本機のRET信号切り替えスイッチの操作は無効になり、カメラアダプターのRET OUT端子からは常にRET VIDEO信号が出力されます。RET SDI信号は出力されません。
- AG-HPX305の映像フォーマットがSD方式の場合、RET信号はRET SDI信号かRET VIDEO信号のいずれかを選択します。信号の選択は、本機のRET信号切り替えスイッチで行います。
またカメラアダプターのVF OUT端子から出力されるRET信号は、本機で選択した信号です。
- AG-HPX305で撮影中の映像は、AG-HPX305のREMOTEケーブルを介してカメラアダプターに送られ、カメラアダプターでVIDEO信号（コンポジット信号）をコンポーネント信号に変換します。
- カメラアダプターのVF OUT端子からは、カメラアダプターのRETスイッチで選択された映像信号が出力されます。RETスイッチを押している間はRET信号が、押していないときにはAG-HPX305からの信号が出力されます。
- AG-HPX305で撮影中の映像をBT-LH80W/WUに表示する際、カメラステータス信号を表示する必要がない場合は、AG-HPX305のSDI2出力、もしくはSDI1出力をBT-LH80W/WUに供給し、BT-LH80W/WUのGPI4項目でINPUT SEL.SDIを選択すると、撮影中の映像をSDI信号に変更することができます。
- 本機を含むカメラ延長システムは、AG-HPX305の映像フォーマットがHD方式の場合、本機のRET SDI信号とRET VIDEO信号の2系統の信号を、同時にカメラアダプターに送り返すことができます。カメラアダプターに送り返されたRET VIDEO信号はRET OUT端子から出力されますので、プロンプター信号、またはオンエアモニター信号として使用することができます。
- 本機のRET信号切り替えスイッチでVIDEOを選択した場合は、本機からカメラアダプターへのRET信号はRET VIDEO信号のみになります。カメラアダプターのVF OUT端子から出力される信号は、RET VIDEO信号（コンポジット）をSDコンポーネント信号に変換したものになります。またカメラアダプターのRET OUT端子からは、RET VIDEO信号（コンポジット）が出力されます。
- AG-HPX305の映像フォーマットがSDの場合、本機からのRET信号はRET SDI信号、もしくはRET VIDEO信号のどちらか1系統のみになります。カメラアダプターのRET OUT端子から出力される映像信号は、本機のRET信号切り替えスイッチで選択したRET信号をコンポジット信号に変換したものになります。

カメラ延長システムとカメラレコーダーの構成例 (続き)

AG-HPX305/AG-HPX555 以外のカメラレコーダーとの接続



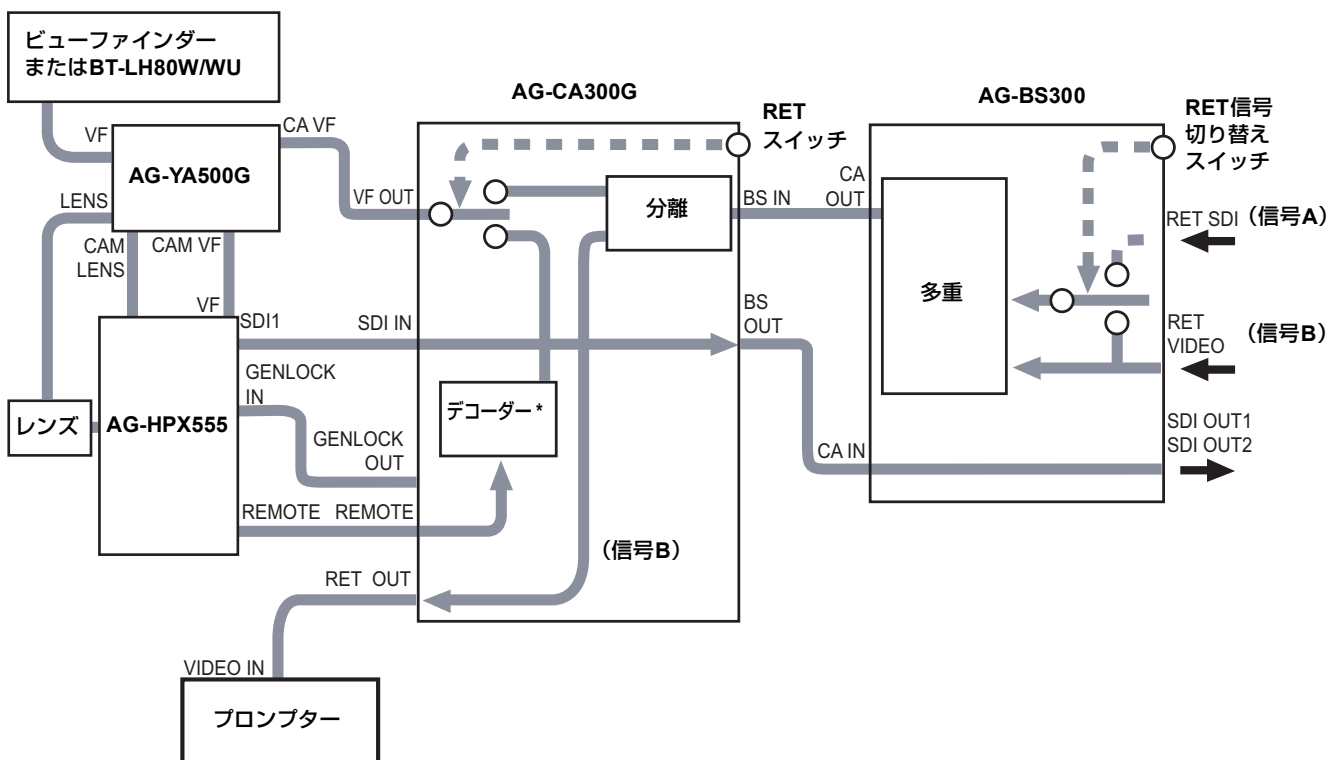
*1 VIDEO信号をコンポーネント信号に変換します。
 *2 BT-CS80Gを使用してください。

- モニターはBT-LH80W/WUを使用します。
- カメラレコーダーの映像フォーマットがHD方式の場合、本機のRET信号切り替えスイッチの操作は無効になり、カメラアダプターのRET OUT端子からは常にRET VIDEO信号が出力されます。RET SDI信号は出力されません。
- AJ-HPX2100、AJ-HPX3000Gを使用する場合、カメラレコーダーのメニュー設定で選択したビューファインダーの機種に合わせて、本機メニューのCAMERA VF項目、およびAJ-HPX2100、AJ-HPX3000GのCRT VF項目を設定してください。
- 映像フォーマットをSD方式に設定可能なカメラレコーダー (AJ-HPX2100、AJ-HPX3000G) でSD方式に設定した場合、RET信号はRET SDI信号かRET VIDEO信号のいずれかを選択します。信号の選択は、本機のRET信号切り替えスイッチで行います。またカメラアダプターのVF OUT端子から出力されるRET信号は、本機で選択した信号です。
- カメラレコーダーで撮影中の映像は、各カメラレコーダーのVFコネクターから出力される信号を、VFケーブル (BT-CS80G・別売品) を介して、BT-LH80W/WUのVF端子に供給します。
- BT-LH80W/WUのGPI4項目をINPUT SEL.VFに設定すると、カメラアダプターのVF OUT端子からは、カメラアダプターのRETスイッチで選択された映像信号が出力されます。RETスイッチを押している間はRET信号が、押していないときにはカメラレコーダーのVF OUT端子からの信号が出力されます。
- カメラレコーダーで撮影中の映像をBT-LH80W/WUに表示する際、カメラステータス信号を表示する必要がない場合は、カメラレコーダーのSDI2出力、もしくはSDI1出力をBT-LH80W/WUに供給し、BT-LH80W/WUのGPI4項目をINPUT SEL.SDI1に設定すると、撮影中の映像をSDI信号に変更することができます。

- 本機を含むカメラ延長システムは、カメラレコーダーの映像フォーマットがHD方式の場合、本機のRET SDI信号とRET VIDEO信号の2系統の信号を、同時にカメラアダプターに送り返すことができます。カメラアダプターに送り返されたRET VIDEO信号は、RET OUT端子から出力されますのでプロンプター信号、またはオンエアモニター信号として使用することができます。
- 本機のRET信号切り替えスイッチでVIDEOを選択した場合は、本機からカメラアダプターへのRET信号はRET VIDEO信号のみになります。カメラアダプターのVF OUT端子から出力される信号は、RET VIDEO信号 (コンポジット) をSDコンポーネント信号に変換したものになります。またカメラアダプターのRET OUT端子からは、RET VIDEO信号 (コンポジット) が出力されます。
- 映像フォーマットをSD方式に設定可能なカメラレコーダー (AJ-HPX2100、AJ-HPX3000G) でSD方式に設定した場合、本機からのRET信号はSDI信号、もしくはRET VIDEO信号のどちらか1系統のみになります。カメラアダプターのRET OUT端子から出力される映像信号は、本機のRET信号切り替えスイッチで選択したRET信号をコンポジット信号に変換したものになります。

カメラ延長システムとカメラレコーダーの構成例 (続き)

AG-HPX555 との接続

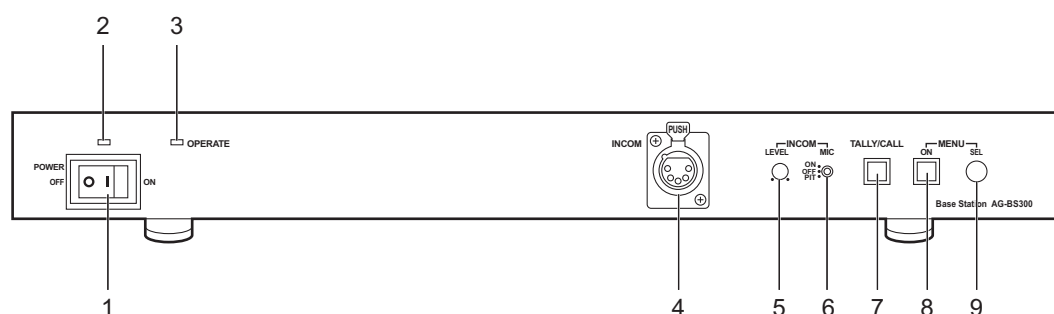


* VIDEO信号をコンポーネント信号に変換します。

- ビューファインダーはAG-HPX555の付属品（SD専用）を使用します。また、必ずAG-YA500G（別売品）を使用してください。
- RET信号はRET VIDEO信号を使用します。信号の選択は、本機のRET信号切り替えスイッチで行います。またカメラアダプターのVF OUT端子から出力されるRET信号は、本機で選択したSD方式の信号です。ビューファインダー使用時には、本機のRET IN SDI端子およびRET IN VIDEO端子にSD方式の信号を入力してください。
- AG-HPX555で撮影中の映像は、AG-HPX555のVF端子からAG-YA500Gに供給されます。
- カメラアダプターのVF OUT端子からは、カメラアダプターのRETスイッチで選択された映像信号が出力されます。カメラアダプターのRETスイッチ、もしくはレンズのRETスイッチを押している間はRET信号が、押していないときにはAG-HPX555からの信号がAG-YA500GのVF端子から出力されます。
- AG-HPX555で記録中、もしくは本機にR TALLY信号が供給された場合、ビューファインダーのR TALLY LEDが点灯します。
- AG-HPX555に付属したビューファインダーを使用せずBT-LH80W/WUを使用し、AG-YA500GのVF端子とBT-LH80W/WUのVF端子を専用のVFケーブル（BT-CS80G・別売品）で接続すると、本機のRET IN SDI端子にHD SDI信号を入力可能になり、RET信号をHD方式にすることができます。
- 本機とカメラアダプター、およびAG-HPX555と組み合わせたシステムにおいて、AG-HPX555をMCRモードにすると、AG-HPX555が再生時以外、本機の出力は黒画面になり映像は表示されません。

各部の名称と機能

フロントパネル



1. POWERスイッチ

AC電源で使用時の主電源スイッチです。DC電源で使用時は無効になります。

2. POWERランプ

主電源（AC電源）が入っている事を表示します。

3. OPERATEランプ

本機が動作中であることを示します。
本機の動作状況により、下記の状態になります。

消灯: 主電源が入っていない、または電源投入後、本機がイニシャライズ中であることを示します。

緑点灯: 正常な動作状態です。

緑点滅: 電源投入直後など、本機、カメラアダプター、カメラレコーダーがロック引き込み中であることを示します。

赤点滅: 本機とカメラアダプター間、カメラアダプターとカメラレコーダー間を接続するケーブル（7ページ①、②、③、④、⑤）が未接続、あるいはケーブルが断線していることを示します。ケーブルを確認し、再接続を行ってから本機の電源を一度OFFにし、再度入れなおしてください。

赤点灯: ファンモーターが回転していないことを示します。常時回転が止まったままなど、異常時には販売店にご相談ください。

4. INCOM端子

インカム用のヘッドセットを接続します。
マイクロフォンは、ダイナミック専用です。
3メートル以下の長さのケーブルをご使用ください。

5. インカム受話レベルボリューム

インカムの受話レベル調整用ボリュームです。

6. MICスイッチ

インカムマイクのON/OFFスイッチです。
ON/OFF/PTT*の3ポジションです。

* PTT (Push To Talk) : 押している間のみMICがONになります。

7. TALLYランプ/CALLスイッチ

本機にTALLY信号が入力されている間点灯します。このSWを押している間、カメラアダプターのTALLYランプを点灯させます。

本機にTALLY信号が入力されている場合、カメラアダプターのTALLYランプおよびカメラアダプターのVF OUT端子に接続されたTALLYランプは点灯し、CALLスイッチを押しても変化はありません。

<ノート>

カメラレコーダー本体のVF端子に接続されたビューファインダーはCALLスイッチを押しても点灯しません。

ビューファインダーインターフェースボックス（AG-YA500G・別売）を装着可能なカメラレコーダーであれば、装着して点灯させることができます。ただし、接続しているカメラレコーダーが記録中の場合にも点灯するので、CALLスイッチを押しても変化はありません。

8. MENUスイッチ

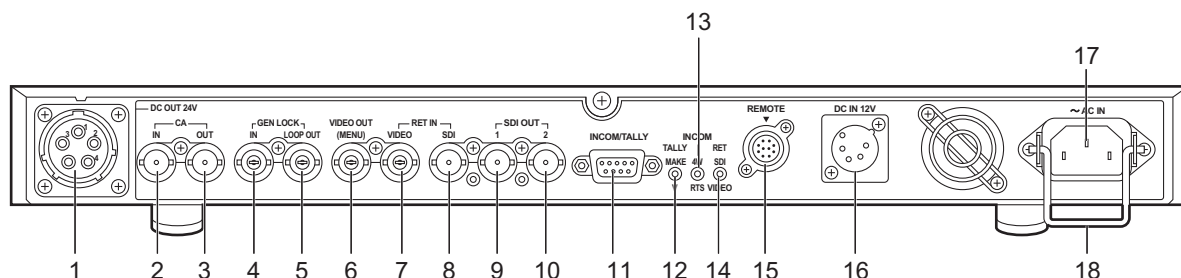
本機の設定を変更するMENUを開くスイッチです。
3秒以上押してください。

9. SELスイッチ

本機のMENU内容から本機の設定を選択するスイッチです。

各部の名称と機能（続き）

リアパネル



1. DC OUT 24 V端子

本機がAC電源で動作している時、DC 24 Vが出力されます。
カメラアダプターへDC電源を供給します。
本機がDC駆動状態では24 Vは出力されません。

2. CA IN端子

カメラアダプターからのBNCケーブルを接続します。
カメラアダプターのBS OUT端子とBNCケーブル（5C-FW）で接続します。

3. CA OUT端子

カメラアダプターからのBNCケーブルを接続します。
カメラアダプターのBS IN端子とBNCケーブル（5C-FW）で接続します。

4. GENLOCK IN端子

本機を外部同期とロックさせるための基準信号入力端子です。

<ノート>

カメラレコーダーの映像フォーマットに合わせて、入力する信号を選択してください。詳しくは「GENLOCK IN端子に入力する信号について」（15ページ）を参照してください。

5. GENLOCK LOOPOUT端子

GENLOCK IN端子とループスルーです。

6. VIDEO OUT (MENU) 端子

コンポジット信号が出力されます。
GENLOCK IN端子に基準信号としてBS信号（バースト・シンク）を入力した場合、色位相も基準信号にロックします。
カメラレコーダーの映像フォーマットを1080-23.98PsF、1080-24PsF、720-60Pに設定した場合、VIDEO OUT (MENU) 端子からはダウンコンバート信号は出力されません。

<ノート>

メニュー表示のため、25IREのNTSC信号が出力されます。

7. RET IN VIDEO端子

本機からカメラアダプターへの送り返し映像信号の入力端子です。
コンポジット信号を入力します。
カメラレコーダーの映像フォーマットを1080-23.98PsF、1080-24PsFに設定した場合、CRTビューファインダーやカラービューファインダーではRET映像を見ることができません。
システム周波数が59.94 Hzのときは、カメラレコーダーと本機のSETUPメニュー設定と、RET IN VIDEO端子に入力する信号のSETUPレベルを合わせてください。

8. RET IN SDI端子

本機からカメラアダプターへの送り返し映像信号の入力端子です。
SDI信号を入力します。
カメラレコーダーの映像フォーマットを1080-23.98PsF、1080-24PsFに設定した場合、CRTビューファインダーやカラービューファインダーではRET映像を見ることができません。

<ノート>

7.RET IN VIDEO端子と8.RET IN SDI端子に供給する信号と、カメラアダプターから出力される信号について、詳しくは「RET信号について」（16ページ）を参照してください。

9. SDI OUT 1端子

カメラレコーダーから出力されたSDI信号を出力します。

10. SDI OUT 2端子

カメラレコーダーから出力されたSDI信号を出力します。
SDI OUT1端子と同じ信号が出力されます。

11. INCOM/TALLY端子

本機と外部インカムシステム及びTALLYシステムとの接続端子です。

12. TALLY切り替えスイッチ

11.INCOM/TALLY端子に接続されるTALLYシステムに合わせるスイッチです。
接点、電圧供給を選択します。
電圧供給の場合：8 V～12 Vに対応しています。

MAKE: TALLY入力信号が接点の場合に選択します
V: TALLY入力信号が電圧供給の場合に選択します

13. INCOM切り替えスイッチ

11.INCOM/TALLY端子に接続されるINCOMシステムに合わせるスイッチです。

4線方式とRTS方式を選択します。

4W: 4線方式の場合に選択します

RTS: RTS方式の場合に選択します

<ノート>

- インカム装置を使用せず、本機とカメラアダプターを1対1で組み合わせるシステムの場合は、このスイッチを4Wに設定してください。
- スwitchをRTS側に設定した場合は、必ずRTSシステムに接続してください。また、RTS方式でご使用の場合は、11.INCOM/TALLY端子の7ピンと8ピンの間を(22ページを参照してください)を200Ωで終端してください。

14. RET信号切り替えスイッチ

本機からカメラアダプターへのRET信号を選択するスイッチです。

7.RET IN VIDEO端子あるいは8.RET IN SDI端子のいずれかに供給したRET信号を選択します。

SDI: 8.RET IN SDI端子に供給されたSDI信号を選択します。ただし、HDモードにおいてSDIを選択した場合は、同時にVIDEO信号も伝送が可能です。

HD方式かSD方式かで、カメラアダプターのRET OUT端子に出力される映像が異なります。詳しくはAG-CA300Gの取扱説明書を参照してください。

VIDEO: 7.RET IN VIDEO端子に供給されたVIDEO信号を選択します。

15. REMOTE端子

AG-EC4G (別売品) もしくはAJ-RC10G (別売品) を接続し、カメラレコーダーを制御します。

16. DC IN 12 V端子

本機をDC運用する時に外部DC電源を接続します。DC 12 V、3 A以上の容量のある電源を使用してください。外部DC電源を使用する場合は、外部DC電源と本機間は、3 m以下のシールド付きケーブルを使用してください。この端子にDC電源を供給するコネクタを接続しますと、本機はDC運用状態となります。

本機にDC電源のみを供給している場合は、1.DC OUT 24 V端子からDC 24 Vは出力されません。本機にAC電源を供給している場合のみ、1.DC OUT 24 V端子からDC 24 Vが出力されます。(22ページ参照)

■ 外部DC電源について

外部DC電源の出力電圧が、本機の定格電圧に適合していることを確認の上、接続してください。

外部DC電源の出力電流は、接続機器の合計電流以上で、余裕のあるものをお選びください。

接続機器の合計電流は、

総消費電力÷電圧

で求めることができます。

本機の電源投入時には、突入電流が発生します。電源投入時に電源供給能力が不足すると、故障の原因となります。本機の、総消費電力の2倍以上の電力を確保できる外部DC電源のご使用をおすすめします。また、DCコードは、ご使用になる外部DC電源推奨のものをお選びください。

● 外部DC電源のDC出力端子と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると、火災や故障の原因になります。

17. AC IN 端子

本機にAC電源を供給する端子です。

付属のACコードを使ってコンセントにつながります。

18. コードフック

ACコードの抜け防止に使用します。

GENLOCK IN端子に入力する信号について

本機へのGENLOCK入力信号は、使用する映像フォーマットに従って、下記の信号をGENLOCK IN端子に供給してください。これ以外の信号を供給すると映像が乱れたりすることがあります。

カメラレコーダーの映像フォーマット	GENLOCK IN端子に供給する信号（アナログ信号）	
1080/59.94i	HD SYNC供給の場合	1080/59.94i 3値SYNC
	SD SYNC供給の場合	480/59.94i ブラックバースト信号（SYNC+バースト）
1080/23.98PsF	HD SYNC供給の場合	1080/23.98PsF 3値SYNC
	SD SYNC供給の場合	対応していません
1080/50i	HD SYNC供給の場合	1080/50i 3値SYNC
	SD SYNC供給の場合	576/50i ブラックバースト信号（SYNC+バースト）
1080/24PsF	HD SYNC供給の場合	1080/24PsF 3値SYNC
	SD SYNC供給の場合	対応していません
720/59.94P	HD SYNC供給の場合	720/59.94P 3値SYNC
	SD SYNC供給の場合	480/59.94i ブラックバースト信号（SYNC+バースト）
720/60P	HD SYNC供給の場合	720/60P 3値SYNC
	SD SYNC供給の場合	対応していません
720/50P	HD SYNC供給の場合	720/50P 3値SYNC
	SD SYNC供給の場合	576/50i ブラックバースト信号（SYNC+バースト）
480/59.94i	HD SYNC供給の場合	対応していません
	SD SYNC供給の場合	480/59.94i ブラックバースト信号（SYNC+バースト）
576/50i	HD SYNC供給の場合	対応していません
	SD SYNC供給の場合	576/50i ブラックバースト信号（SYNC+バースト）

<ノート>

本機をHDモードでご使用になる際は、HD3値SYNC信号またはブラックバースト信号を、SDモードでご使用になる際は、ブラックバースト信号を入力してください。バースト信号がないSD2値SYNC信号を供給した場合は、GENLOCK動作はできません。

RET信号について

本機に入力されたRET信号はカメラアダプターへ伝送することができます。カメラレコーダーの映像フォーマットがHD方式の場合、RET IN SDI端子とRET IN VIDEO端子に供給された両方の映像信号をカメラアダプターに伝送できます。カメラレコーダーの映像フォーマットがSD方式の場合、RET IN SDI端子、もしくはRET IN VIDEO端子に供給された映像信号のいずれかをカメラアダプターに伝送できます。カメラアダプターのVF OUT端子（D-Subコネクタ）から出力される信号は、本機の背面パネルにあるRET切り替えスイッチで切り替えることができます。

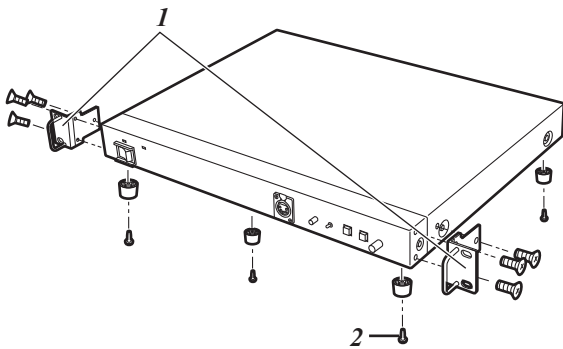
カメラレコーダーの映像フォーマット	AG-BS300の入力信号			AG-CA300Gへの出力信号	
	入力信号端子名	入力信号	背面のRET信号切り替えスイッチ	VF OUT端子 (D-Sub)	RET OUT端子 (BNC)
HD	RET IN SDI	HD SDI (信号A)	SDI	HD コンポーネント (信号A)	コンポジット (信号B)
	RET IN VIDEO	コンポジット (信号B)		SD コンポーネント (信号B)	
	RET IN SDI	HD SDI (信号A)	VIDEO	信号は出力されません	
	RET IN VIDEO	コンポジット (信号B)		SD コンポーネント (信号B)	
	RET IN SDI	SD SDI (信号C) *1	SDI	SD コンポーネント (信号B)	
	RET IN VIDEO	コンポジット (信号B)		信号は出力されません	
	RET IN SDI	SD SDI (信号C) *1	VIDEO	SD コンポーネント (信号B)	
RET IN VIDEO	コンポジット (信号B)	信号は出力されません			
SD	RET IN SDI	SD SDI (信号A)	SDI	SD コンポーネント (信号A)	コンポジット (信号A)
	RET IN VIDEO	コンポジット (信号B)		SD コンポーネント (信号B)	
	RET IN SDI	SD SDI (信号A)	VIDEO	信号は出力されません	
	RET IN VIDEO	コンポジット (信号B)		SD コンポーネント (信号B)	
	RET IN SDI	HD SDI (信号C) *2	SDI	SD コンポーネント (信号B)	
	RET IN VIDEO	コンポジット (信号B)		信号は出力されません	
	RET IN SDI	HD SDI (信号C) *2	VIDEO	SD コンポーネント (信号B)	
RET IN VIDEO	コンポジット (信号B)	信号は出力されません			

*1 カメラレコーダーの映像フォーマットがHD方式のとき、SD SDI信号は伝送できません。

*2 カメラレコーダーの映像フォーマットがSD方式のとき、HD SDI信号は伝送できません。

ラックマウントについて

本機はEIA標準ラックに組み込むことができます。



- 1 付属品のラックマウントアダプタービス6本を使って、付属品のラックマウントアダプターを取り付けます。
- 2 ビスをゆるめ、本機の4本セット足を取り外します。
- 3 市販品のビスを使ってラックに取り付けます。ビスは確実に締め付けてください。

<ノート>

背面部端子に接続したケーブルは、必ずラック支柱などにクランプし、ケーブルの質量が本体に直接かからないようにしてください。

カメラレコーダーの設定

本機とAG-CA300Gおよびカメラレコーダーを組み合わせてシステムを組む時はカメラレコーダーの設定を行なってください。
カメラレコーダーの設定につきましてはカメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

映像フォーマットの設定

カメラレコーダーのメニュー操作、もしくはスイッチ操作により、カメラレコーダーのSDI出力端子から出力される映像信号フォーマットと記録する映像信号フォーマットは、同じに設定してください。

GENLOCK MODEの設定

カメラレコーダーのメニュー操作によりカメラレコーダーのGENLOCK MODEをGENLOCK : EXTに設定してください。

(ただし、AG-HPX305、AG-HPX555では設定の必要はありません。)

GENLOCK PHASEの設定

カメラレコーダーのメニュー操作によりカメラレコーダーのGL PHASE項目を「GL PHASE : HD SDI」に設定してください。

なお、AG-HPX555に接続して使用する場合、GL SELECT項目をSDIに、GL PHASE項目をOFFに設定してください。

CRT VFの設定

カメラレコーダーのメニュー操作によりカメラレコーダーで使用するVF TYPEの設定を行なってください。

VF TYPE : SDに設定すると、本機からの送り返し映像 (RET映像) はSD映像のみが確認可能になります。

バッテリーの設定

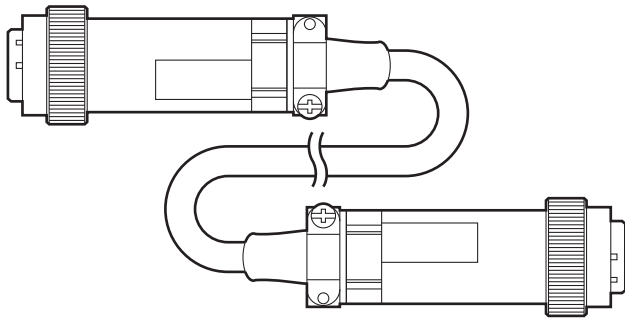
本機からカメラレコーダーへの電源供給は、カメラアダプターを介してカメラレコーダーのバッテリー端子から行われます。本機とカメラアダプター、カメラレコーダーを接続し、カメラレコーダーに電源を供給時には、カメラレコーダーのバッテリー設定を「TYPE B」に、FULL表示する電圧を「13.0V」に、ニアエンド電圧を「12.5 V」に、エンド電圧を「12.0 V」に設定してください。詳しくはカメラレコーダーの取扱説明書を参照してください。

電源コードについて

本機では下記仕様の電源コードをご使用ください。

特に導体抵抗値が下記仕様よりも大きい場合には本機とカメラアダプターの延長距離を100 m確保できなくなります。

(CE01-6A18-11PC-D0・本機側)



(CE01-6A18-11SC-D0・カメラアダプター側)

1) 導体抵抗値：0.5Ω以下

(実質導体断面積：3.5 mm²)

2) 構成

線芯数：4本

1本当たりの導体断面積：1.75 mm²

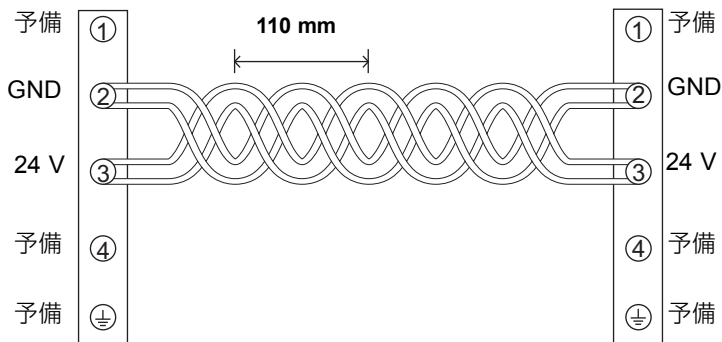
3) 耐電圧

AC 60 V以上

実質印加電圧：DC 24 V

4) 撚りピッチ

4本の導線の撚りピッチ：110 mm



5) 仕上がり外形寸法

10 mm以下

6) 両端コネクタ品番

AG-CA300G側： CE01-6A18-11SC-D0

(メーカー名：第一電子工業)

AG-BS300側： CE01-6A18-11PC-D0

(メーカー名：第一電子工業)

7) 推奨コード

DC50V10-CE01PS-SC (50 m)

DC100V10-CE01PS-SC (100 m)

(メーカー名：カナレ電気)

メニュー表示

本機はリアパネルのVIDEO OUT (MENU) 端子から出力される映像に設定メニューを表示することができます。

メニューの基本構成

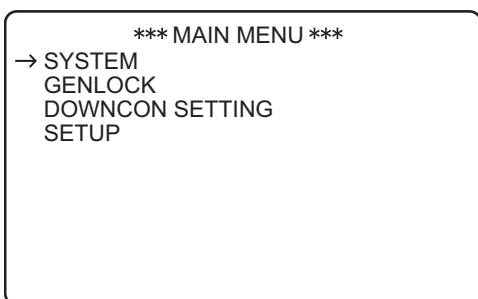
メニュー設定の操作は、MENUスイッチとSELスイッチで操作します。

メニューはメインメニューとサブメニュー及び設定項目に分かれています。

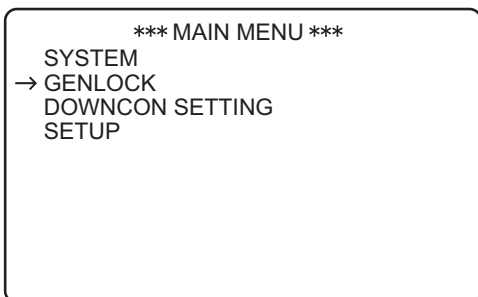
設定されたデータは本機の内部メモリーに書き込まれ、保存されます。

メニュー表示の基本操作

- 1 フロントパネルのMENUスイッチを3秒間押します。VIDEO OUT (MENU) 端子から出力される映像に設定メニューが表示されます。設定MENUはSYSTEM、GENLOCK、DOWNCON SETTING、SET UPの4画面があります。



- 2 SELスイッチを回して、SYSTEM、GENLOCK、DOWNCON SETTING、SET UPに矢印(→)を合わせてSELスイッチを押すとSUBメニューが開きます。

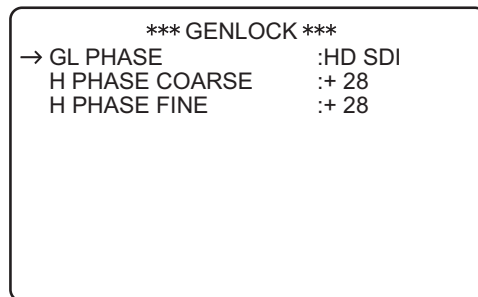


- 3 SELスイッチを回して、設定したい項目に矢印(→)を移動させ、SELスイッチを押すと、設定内容が点滅します。SELスイッチを回して設定項目の変更を行いません。

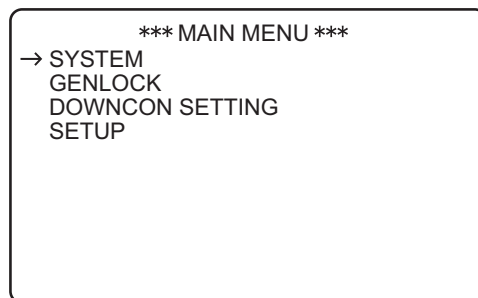
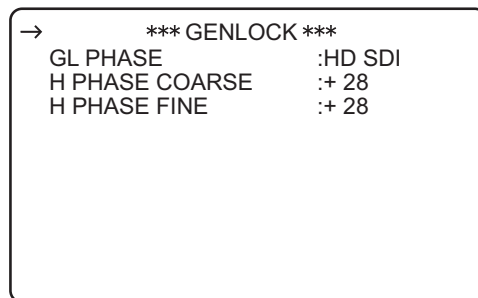
設定値を増加させるには：
SELスイッチを時計方向に回します。

設定値を減少させるには：
SELスイッチを反時計方向に回します。

設定値のON/OFFを切り替えるには：
ONさせるにはSELスイッチを時計方向に回します。
OFFさせるにはSELスイッチを反時計方向に回します。



- 4 SELスイッチを押します。設定値の点滅が停止し、設定値が確定します。
- 5 続けて同じページの設定項目を変更するには、手順3、4を繰り返します。
- 6 SUBメニュー画面からSYSTEM、GENLOCK、DOWNCON SETTING、SET UP画面に戻るには、SELスイッチを回して矢印をメニュータイトルに移動させ、SELスイッチを押します。



- 7 設定が終了したら、MENUスイッチを押します。メニュー設定モードが終了し、通常の操作モードに戻ります。

<ノート>

カメラレコーダーのシステムフォーマットがSD、および1080-23.98PsF、1080-24PsF、720-60Pの場合、メニューにDOWNCON SETTING項目は表示されません。

メニュー一覧

<SYSTEM>

項目/データ保存	可変範囲	備考
FORMAT	1080-59.94 i 1080-23.98PsF 1080-24PsF 1080-50i 720-59.94P 720-50P 720-60P 480-59.94i 576-50i	本機が運用されているフォーマットを表示します。 状態表示のみです。 メニューで変更することはできません。
CAMERA VF	HD/LCD SD	カメラレコーダーに使用するビューファインダーの型式を設定します。 HD/LCD： HD方式のCRTビューファインダー、LCD方式のビューファインダー、またはBT-LH80W/WU SD： SD方式のビューファインダー

<GENLOCK> SDモード時

項目/データ保存	可変範囲	備考
H PHASE COARSE	+15 : 0 : -15	SD方式でシステムを組む際の水平同期の位相合わせの粗調整を行いません。
H PHASE FINE	+30 : 0 : -30	SD方式でシステムを組む際の水平同期の位相合わせの微調整を行いません。
SC PHASE COARSE	0 : 3	VIDEO出力端子のサブキャリア位相の粗調整を行いません。
SC PHASE FINE	+75 : 0 : -75	VIDEO出力端子のサブキャリア位相の微調整を行いません。

<GENLOCK> 1080/720モード時

項目/データ保存	可変範囲	備考
GL PHASE	HD SDI COMPOSIT	GEN LOCK IN端子に入力された信号に位相をロックさせる出力信号を選択します。 HD SDI： HD SDI信号をゲンロック入力にロックさせます。ダウンコンバート出力信号は映像のスタート位置が約90ライン遅れます。 COMPOSIT： ダウンコンバート信号をゲンロック入力信号にロックさせます。HD SDI出力信号は、映像のスタート位置が約90ライン進みます。 <ノート> カメラレコーダー側のGL PHASEはHD SDIに合わせてご使用ください。
H PHASE COARSE	+60 (+40) : 0 (0) : -60 (-40)	HD方式でシステムを組む際の水平同期の位相合わせの粗調整を行いません。 ()内の数値は720Pモード時の値です。
H PHASE FINE	+100 : 0 : -100	HD方式でシステムを組む際の水平同期の位相合わせの微調整を行いません。

<ノート>

_____は工場出荷値です。

メニュー一覧 (続き)

<DOWNCON SETTING> HDモード時のみ表示

項目/データ保存	可変範囲	備考
DOWNCON MODE	SQUEEZE SIDE CROP LETTER BOX	VIDEO OUT (MENU) 端子から出力されるコンポジット信号のモードを設定します。 SQUEEZE： 水平方向を縮めた映像になります。 SIDE CROP： 水平方向の両側を削除した映像になります。 LETTER BOX： 垂直方向を縮めた映像になります。
DETAIL	ON OFF	VIDEO OUT (MENU) 端子から出力されるコンポジット信号に対するディテール機能のON/OFFを設定します。 ON： ディテール信号が付加されます。 OFF： ディテール信号が付加されません。 VIDEO OUT (MENU) 端子から出力されるコンポジット信号にはカメラレコーダーのHD信号処理時に設定されたディテール成分が含まれます。 本設定はカメラレコーダーからの信号にVIDEO OUT (MENU) 端子から出力されるコンポジット信号のディテール信号を重畳するものです。 本設定をOFFにしても、HD信号処理時に付加されたディテール信号成分はOFFにすることは出来ません。
DETAIL LEVEL	0 : 8 : 31	VIDEO OUT (MENU) 端子から出力されるコンポジット信号に対するディテール成分の量を設定します。 <ノート> ディテールレベルを大きくした場合、カメラレコーダーのメニューやステータス、TC表示にもディテール信号が付加されます。
DETAIL CORING	0 : 1 : 15	VIDEO OUT (MENU) 端子から出力されるコンポジット信号に対するディテール信号に含まれるノイズ除去レベルを設定します。
2D LPF	ON OFF	クロスカラーを低減する2次元ローパスフィルターの設定を行いません。 ON： クロスカラーの低減を行いません。 OFF： クロスカラーの低減を行いません。 <ノート> カメラレコーダーのシステムモードが1080-50i、720-50P、576-50iの時には2D LPF効果は僅少となります。

<SETUP>

項目/データ保存	可変範囲	備考
SETUP	0% 7.5%	VIDEO OUT (MENU) 端子から出力されるコンポジット信号に対するセットアップレベルの設定を行いません。(59.94i時のみ) 0%： セットアップレベルは0%です。 7.5%： セットアップレベルは7.5%です。 システム周波数が50Hzの時はセットアップレベルは0%になります。システム周波数が59.94Hzの時は、本メニューの設定値をカメラレコーダーのSETUPメニュー、RET IN VIDEO端子に入力する映像信号のSETUPレベルと合わせてください。

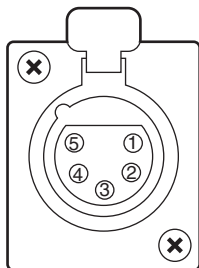
<ノート>

_____は工場出荷値です。

コネクターの信号内容

INCOM	
1	INCOM MIC GND
2	INCOM MIC
3	INCOM RECEIVE GND
4	INCOM RECEIVE
5	INCOM RECEIVE

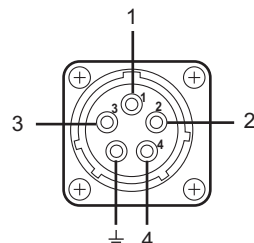
パナソニック品番 K1AB105H0003
メーカー品番 HA16PRH-5S
(ヒロセ電機)



DC OUT 24 V	
1	予備
2	GND
3	24 V
4	予備
⏚	予備

パナソニック品番 K1AY105J0004
メーカー品番 CE01-2A18-11SC-D0
(第一電子工業)

ケーブル側コネクタ
メーカー品番 CE01-6A18-11PC-D0
(第一電子工業)



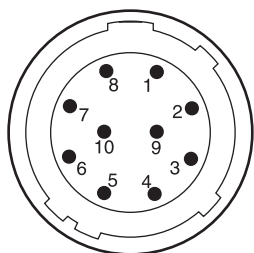
<ノート>

インカムケーブルコネクタの3ピンは、フレームGNDに接続してください。

REMOTE	
1	CAM DATA (H)
2	CAM DATA (C)
3	CAM CONT (H)
4	CAM CONT (C)
5	ECU ON
6	VIDEO
7	VIDEO GND
8	—
9	+13V
10	GND

パナソニック品番 K1AY110JA001
メーカー品番 HR10A-10R-10SC (71)
(ヒロセ電機)

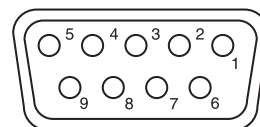
ケーブル側コネクタ
メーカー品番 HR10A-10P-10PC (73)
(ヒロセ電機)



INCOM/TALLY	
1	INCOM IN (C)
2	INCOM GND
3	INCOM OUT (C)
4	GND
5	—
6	INCOM IN (H)
7	INCOM OUT (H)
8	INCOM GND
9	R TALLY IN

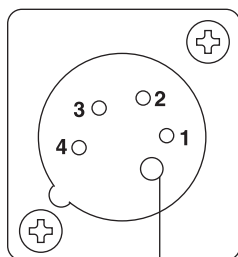
パナソニック品番 K1FB109B0078
メーカー品番 RDED-9S-LNA (4-40) (55)
(ヒロセ電機)

ケーブル側コネクタ
メーカー品番 HDEB-9PF (05)
(ヒロセ電機)



DC IN 12 V	
1	GND
2	—
3	—
4	+12V

パナソニック品番 K1AA104H0038
メーカー品番 HA16RX-4P(SW1)(76)
(ヒロセ電機)



スイッチ

保証とアフターサービス

故障・修理・お取扱い
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

●保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。
万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社では、ベースステーションの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。
※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
部品の磨耗、劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。
保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。
詳しくは、保証書をご覧ください。

◆保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	ベースステーション
品番	AG-BS300
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

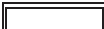
定格

【総合】

入力 : AC (～) 100 V - 240 V, 50/60 Hz, 1.6 A - 0.6 A
DC (＝) 12 V, 1.1 A

出力 : DC (＝) 24 V, 4.0 A
DC (＝) 13 V, 0.3 A (リモート電源)

(定格銘板は本機の底面にあります)

 は安全項目です。

動作周囲温度 :

0 °C ~ 40 °C

保存温度 :

- 20 °C ~ 60 °C

動作周囲湿度 :

10 % ~ 85 % (相対湿度)

質量 :

約4.8 kg

外形寸法 (幅×高さ×奥行き) :

432 mm × 44 mm × 360 mm

(ラックマウントアダプター・足ベース等突起物を除く)

【電源部】

AC IN :

ACインレット

AC 100 V-240 V, 50/60 Hz, 1.6 A - 0.6 A

DC IN 12 V :

XLR 4ピン、スイッチ付

DC 12 V (DC 11 V ~ 17 V)、1.1 A

DC OUT 24 V :

丸型 5ピン

DC 24 V、最大4 A

REMOTE :

丸型 10ピン

DC 13 V、0.3 A

【伝送部】

DC電源伝送 (本機⇒AG-CA300G) :

最大100 m

(導体断面積3.5 mm²以上使用時)

信号伝送 (本機⇔AG-CA300G) :

最大100 m

(5C-FW BNCケーブル使用時)

【アナログ信号入力部】

GENLOCK IN :

BNC

HD : アナログ3値SYNC、±0.3 V、75 Ω

1080/59.94i、1080/23.98PsF、1080/24PsF、

1080/50i、720/59.94P、720/50P

SD : ブラックバースト、75 Ω

480/59.94i、576/50i

RET IN VIDEO :

BNC

VBS、1 V [P-P]、75 Ω

480/59.94i、576/50i

【アナログ信号出力部】

VIDEO OUT :

BNC

VBS、1 V [P-P]、75 Ω

GENLOCK LOOPOUT :

BNC

【デジタル信号入力部】

RET IN SDI :

BNC、75 Ω

HD SDI時 SMPTE292M/299M規格に準拠

1080/59.94i、1080/23.98PsF、1080/24PsF、

1080/50i、720/59.94P、720/50P

SD SDI時 SMPTE259M-C/272M-A

ITU-R.BT656-4規格に準拠

480/59.94i、576/50i

CA IN :

BNC、75 Ω

【デジタル信号出力部】

SDI OUT1 :

BNC、0.8 V [P-P]、75 Ω

HD SDI時 SMPTE292M/299M規格に準拠

1080/59.94i、1080/23.98PsF、1080/24PsF、

1080/50i、720/59.94P、720/50P

SD SDI時 SMPTE259M-C/272M-A

ITU-R.BT656-4規格に準拠

480/59.94i、576/50i

SDI OUT2 :

BNC、0.8 V [P-P]、75 Ω

HD SDI時 SMPTE292M/299M規格に準拠

1080/59.94i、1080/23.98PsF、1080/24PsF、

1080/50i、720/59.94P、720/50P

SD SDI時 SMPTE259M-C/272M-A

ITU-R.BT656-4規格に準拠

480/59.94i、576/50i

CA OUT :

BNC、75 Ω

【制御部】

REMOTE :

丸型10ピン

定格（続き）

【外部機器接続部】

INCOM/TALLY :

D-Sub9ピン

INCOM :

4線式 0 dBm (600 Ω平衡)

RTS式 1 V [P-P] (200 Ω平衡)

TALLY :

電圧供給/接点切り替え可

電圧供給時 DC 12 V最大 (8 V~12 V)

【インターコミュニケーション部】

INCOM :

XLR 5ピン

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

©Panasonic Corporation 2009